

就職に係る採用選考開始期日等が変更

厚生労働省は11日、今の高校3年生の就職活動開始時期を1か月延期すると発表しました。令和3年3月新規高等学校卒業者の採用選考期日等は次のようになります。

- 企業による学校への求人申込及び学校訪問開始 7月1日 ※変更無し
- 学校から企業への生徒の応募書類提出開始 10月5日 ※変更前は9月5日
- 企業による選考開始及び採用内定開始 10月16日 ※変更前は9月16日

共通テストは予定通り 1月16、17日実施

一方、延期論もあった大学入学共通テストについては、予定通り来年1月16、17日に実施する方向のようです。6月中旬に公表される「大学入学者選抜実施要項」で示されます。

「入梅」後、「大安」の日に考えたこと

カレンダーに「入梅」と書いてあった日、つまり6月10日、東海地方などが梅雨入りし、その翌日の昨日、関東地方も梅雨入りとなりました。暦通りと言っていていいでしょう。

「立夏」や「夏至」などは二十四節気といって、1年を春夏秋冬の4つの季節に分けた後、さらにそれぞれを6つに分けた15日ずつの季節を表す言葉ですが、「入梅」は、雑節の一つで、「八十八夜」「二百十日」などと同じく、季節の変化の目安とする特定の日の総称です。季節の変化の目安とするだけのことはあります。

うっとうしい日が続きますが、我が国にとっては貴重な水資源の元となる雨をもたらしてくれます。我が国では水道水を普通に飲むことができますが、病原菌や有害化学物質等の人体に有害な物質を含まない安全な水が供給され、水道水をそのまま美味しく飲めるという国は、世界の中で見れば少数派です。国土交通省の資料によると、2018年現在で、水道の水をそのまま飲める国は日本を含む9か国、そのまま飲めるが注意が必要な国は21か国となっています。それ以外の国ではそのまま飲めないのです。

水には恵まれているかに見える我が国ですが、湯水のように使えるわけではありません。梅雨と台風によるところが大きく、仮に梅雨が消え、台風がほとんどやっとなければ、たちまち水不足に陥るでしょう。使用割合の大きい農業においてもしかり。周囲の水田では、この季節を待っていたかのように田植えが始まっています。これからの季節、体調管理と交通安全に気をつけて、乗り切っていくきましょう。

ところで、暦には二十四節気や雑節だけでなく、「六曜」というものが書かれている場合が

あります。大安や仏滅などの、あれです。何やら意味がありそうで、「やっぱり、祝い事は大安や友引でないとね」などという会話を聞いたことがある人もいるでしょう。六曜というだけあって6種類並んでいます。赤口、先勝、友引、先負、仏滅、大安の6種類。だいたいこうした順で並んでいますが、時々、どこかが抜けて順番が乱れる場所がみられます。ずっと同じ並びではないので、何か特別な意味があるのではないかと思いたくなってしまいます。

けれども、よく見ると極めて規則的な並びなのです。該当する日のところに、その日が旧暦（太陰太陽暦）では、何月何日なのかが書いてあればすぐに分かります。何のことはない、旧暦の月の数字と日の数字を足して6で割り、割り切れれば大安、余りが5なら仏滅、4なら先負、3は友引、2は先勝、1は赤口という規則性です。例えば、今月21日は、旧暦では「5月1日」とありますので、「 $5 + 1 = 6$ 」、6で割り切れますので大安です。26日は、旧暦の「5月6日」なので「 $5 + 6 = 11$ 」、6で割ると5余るので仏滅、その翌日は、また大安。だから、旧暦のお正月、1月1日は常に先勝となるのです。もっとも、年の初めがそうなるように設定したのかもしれませんが。詳しいことは知りませんが、いずれにしても、あまり呪術的な雰囲気は感じられない規則性ではあります。

さて、そうなったときに「祝い事は大安や友引」にする意味とはどのようなものになるのでしょうか。算数的な規則性を理解した上で「大安」にする場合と、慣習に従って「大安」にする場合とでは、決めた本人の内面的な事情は異なっているわけですが、外見的にはその差は分かりません。他者からは、内面の事情を推し量ることはできないからです。「大安」にする場合でも、そのことに大きな意味を持たせているというよりは、それが一般的だからや、周囲や世間のことを考えてなど、必ずしも積極的な理由ではなく選択したというような場合もあるでしょう。しかし、そうしたケースといえども、少なくとも六曜に一定程度の重きを置いた判断ではあるといえるわけです。

私たちは、時として、自分の立ち位置を、あまり意識することなく選択している場合があります。あるいは、その立ち位置が、自分が考えている以上に第三者には強く意識されているという場合もあります。例えば、いじめの場合の傍観者、コロナ禍での偏見や差別、デマは信じていないのにとりあえずトイレットペーパーを購入していた私…。

合理的ではない自分が、せめて前号で紹介した「エンパシー」を心掛けて行動したいと思った梅雨入りでした。